

第7 県民負担の状況

県行政を推進していくために必要な経費は、県民の皆さんの負担によってまかなわれていますが、特に県税は県民の皆さん方の負担のうち最も普遍的であり、かつ、県の自主財源の大部分を占める、県財政の運営上特に重要なものです。第4表に示すとおり、平成20年度当初予算の県税収入は、平成19年度予算（6月補正後）に比べ、税源移譲の平年化などにより個人県民税の増収などが見込まれるものの、法人事業税や自動車取得税の減収が見込まれることから、25億4,500万円減の2,712億5,200万円を見込んでいます。この結果、平成20年度一般会計歳入予算に占める県税収入の比率は、平成19年度予算（6月補正後）に比べ、2.2%減の37.5%となっています。

一方、昭和50年度以降における県税収入及び県民所得の推移は、第20表のとおりで、平成20年度の県民1人あたりの県財政規模が373,017円であるのに対し、県民1人あたりの県税負担額は144,998円となっています。

第20表 県民負担と県民所得の推移

年度別	県民負担		県財政規模		県民所得	
	県税収入額	県民1人あたり額	普通会計決算額	県民1人あたり額	分配所得	県民1人あたり額
	千円	円	千円	円	百万円	千円
S50	49,121,153	30,210	220,850,584	135,824		
55	93,317,795	55,318	355,000,656	210,441		
60	126,667,021	72,493	434,303,008	248,555		
61	135,490,426	77,156	451,272,437	256,981		
62	155,813,879	88,301	487,637,745	276,349		
63	182,353,398	102,909	506,522,450	285,851		
H元	197,151,232	110,578	545,147,961	305,762		
2	208,795,878	116,482	603,612,427	336,741	4,829,546	2,694
3	219,073,561	121,365	635,360,567	351,985	5,208,188	2,888
4	205,291,775	113,038	668,815,637	368,263	5,199,711	2,867
5	194,891,368	106,865	737,440,040	404,363	5,276,657	2,895
6	197,970,903	108,027	741,042,303	404,365	5,300,091	2,892
7	200,987,977	109,152	740,367,218	402,077	5,472,468	2,972
8	210,014,869	113,691	762,030,556	412,523	5,583,738	3,024
9	231,054,533	124,778	772,442,281	417,148	5,610,221	3,031
10	223,072,249	120,253	805,449,952	434,198	5,434,759	2,930
11	216,623,348	116,776	795,647,560	428,914	5,349,053	2,883
12	225,758,527	121,549	794,784,360	427,916	5,533,668	2,979
13	226,128,842	121,491	772,869,963	415,234	5,242,324	2,815
14	198,345,786	106,609	729,030,656	391,846	5,377,151	2,887
15	202,009,153	108,541	697,976,055	375,028	5,464,942	2,932
16	211,784,254	113,570	664,614,137	356,401	5,602,039	3,001
17	221,958,374	118,887	670,968,579	359,390	5,727,308	3,068
18	240,851,500	128,956	665,081,725	356,097	5,856,797	3,127
19	271,802,000	145,403	659,405,396	352,754		
20	271,252,000	144,998	697,815,104	373,017		

(注) 1. H18年度までの県税収入額及び県財政規模は決算額 2. H19年度は最終補正予算額 3. H20年度は当初予算額 4. 県民所得は、「県民経済計算標準方式推計方法（平成14年版）」（内閣府経済社会総合研究所）に基づき、93SNAの基準により推計したものです。H7年度以前とH8年度以降は推計方法が若干異なるため、接続しません。H18年度は速報値（H20.2.4現在）です。

(参考) S	50年国勢調査	1,626,002人	(50.10.1)	H	8年統計課推計	1,847,243人	(8.10.1)
	55年国勢調査	1,686,936人	(55.10.1)		9年統計課推計	1,851,722人	(9.10.1)
	60年国勢調査	1,747,311人	(60.10.1)		10年統計課推計	1,855,028人	(10.10.1)
	61年統計課推計	1,756,052人	(61.10.1)		11年統計調査課推計	1,855,027人	(11.10.1)
	62年統計課推計	1,764,573人	(62.10.1)		12年国勢調査	1,857,339人	(12.10.1)
	63年統計課推計	1,771,981人	(63.10.1)		13年統計調査課推計	1,861,288人	(13.10.1)
H	元年統計課推計	1,782,914人	(元.10.1)		14年統計調査課推計	1,860,501人	(14.10.1)
	2年国勢調査	1,792,514人	(2.10.1)		15年統計調査課推計	1,861,130人	(15.10.1)
	3年統計課推計	1,805,077人	(3.10.1)		16年統計調査室推計	1,864,791人	(16.10.1)
	4年統計課推計	1,816,137人	(4.10.1)		17年国勢調査	1,866,963人	(17.10.1)
	5年統計課推計	1,823,710人	(5.10.1)		18年統計室推計	1,867,696人	(18.10.1)
	6年統計課推計	1,832,606人	(6.10.1)		19年統計室推計	1,869,307人	(19.10.1)
	7年国勢調査	1,841,358人	(7.10.1)		20年統計室推計	1,870,733人	(19.12.1)